

お客様各位

## 「PUSHLOG Viewer」機能追加と

### ゲートウェイのファームウェアバージョンアップについて

PUSHLOG をご利用いただき、誠にありがとうございます。

ご使用いただいております PUSHLOG Viewer に下記の機能を追加します。

また、合わせて PUSHLOG ゲートウェイのファームウェアをバージョンアップします。

下記内容をご確認いただき、追加機能をご使用いただくお客様は、ファームウェアのバージョンアップを実施していただきますよう、お願いいたします。

#### <追加機能>

##### ① データ収集機能追加※

- ・高速トリガ設定(最小 10 秒周期でデータ収集が可能)
- ・収集データ追加(最大 148 デバイスのデータ収集が可能)
- ・アラームレコーダ(最小 0.1 秒周期でゲートウェイ内部メモリにデータを常時バッファリングし、トリガ条件成立時にトリガ前後のデータをまとめて収集)

※オプションライセンスの購入と登録、ゲートウェイファームウェアのバージョンアップが必要です。

##### ② PUSHLOG Viewer 操作性アップ

- ・収集デバイスを一覧表示上で直接編集(データ名やデバイス種別、アドレスなどの設定)
- ・設定インポート時のインポート内容選択
- ・表示データの絞り込み(フィルタ機能)
- ・リアルタイムグラフ(詳細モニタのグラフ表示を自動更新)

##### ③ オプションライセンス登録およびライセンス管理

#### <ゲートウェイファームウェアのバージョンアップ>

- ・高速トリガ設定および収集データ追加
- ・アラームレコーダ

※バージョンアップ方法については 7 ページ以降をご確認ください。

#### <追加機能の内容>

次ページ以降に概要を記載しますのでご確認ください。

#### <変更実施日時>

2020年12月4日(金)18時~21時(予定)

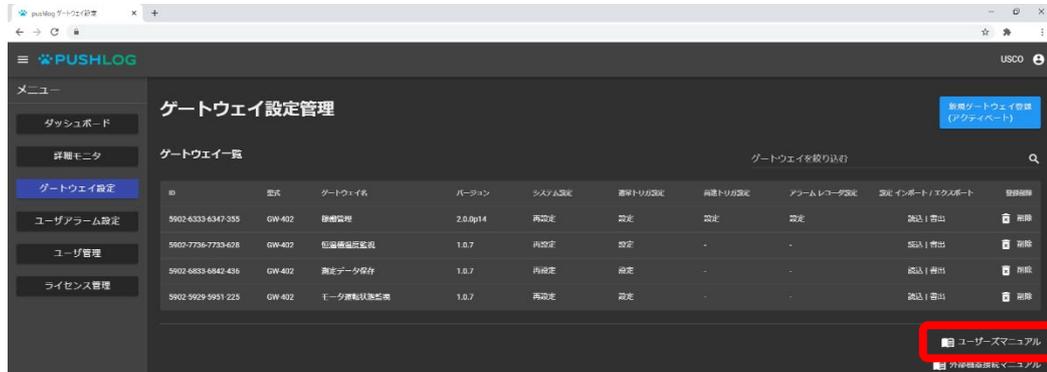
#### <注意事項>

データ収集は、変更の前後も継続して実行されます。変更にあたり、ユーザー様が必要な作業はありません。変更時に一時的に PUSHLOG Viewer にアクセスできない状態が発生する可能性があります。アクセスできない場合は、しばらく時間を置いてから、再度 PUSHLOG Viewer にアクセスしていただきますよう、お願いいたします。

## 最新版ユーザーズマニュアルの確認方法

追加機能の詳細や操作方法については、ユーザーズマニュアルをご確認ください。

最新のユーザーズマニュアルはPUSHLOG Viewerのゲートウェイ設定画面で表示することができます。



## 追加機能の内容

### ①データ収集機能追加

追加機能を使用するには、オプションライセンスの購入とライセンスキーの登録、ゲートウェイファームウェアのアップデートが必要です。オプションライセンスについては6ページをご確認ください。また、ゲートウェイファームウェアのアップデート手順については7ページをご確認ください。

### 高速トリガ設定

最小10秒周期でデータ収集が可能です。データ収集するデバイス数は、登録するオプションライセンスによって、10点、20点、64点から選択できます。

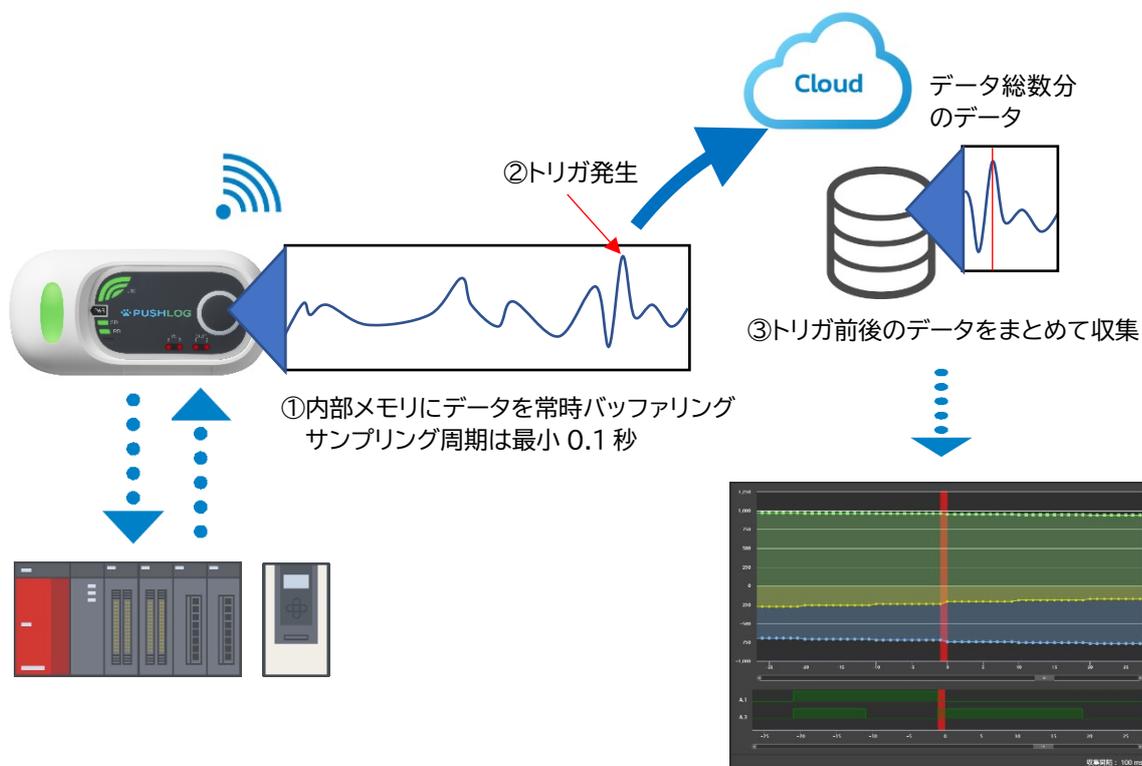
### 収集データ追加

通常(最小1分周期)のトリガ設定で収集するデバイス数を拡張できます。追加するデバイス数は、登録するオプションライセンスによって、64点、128点から選択できます。

128点のオプションライセンスを登録すると、基本ライセンスの20点と合計で、最大148点のデバイスのデータ収集が可能です。

## アラームレコーダ

ゲートウェイの内部メモリに、設定した周期(最小 0.1 秒周期)でお客様装置から読み出したデータを常時バッファリングしておき、トリガ条件成立時にトリガ前後のデータをまとめてクラウドに収集します。装置エラー発生前後のデータ変化を確認したい場合などに活用できます。



サンプリング周期:0.1 秒~10 秒

収集デバイス数:1~8

データ総数:4096 データ(収集デバイス数が 1 のときは 4096 データ、

収集デバイス数が 8 のときは 512 データを収集可能)

データ総数の範囲内でトリガ前後のデータ数を自由に設定できます。

トリガ前後データ数

データ総数

トリガ前データ数    トリガ後データ数

収集間隔 (100ms単位)

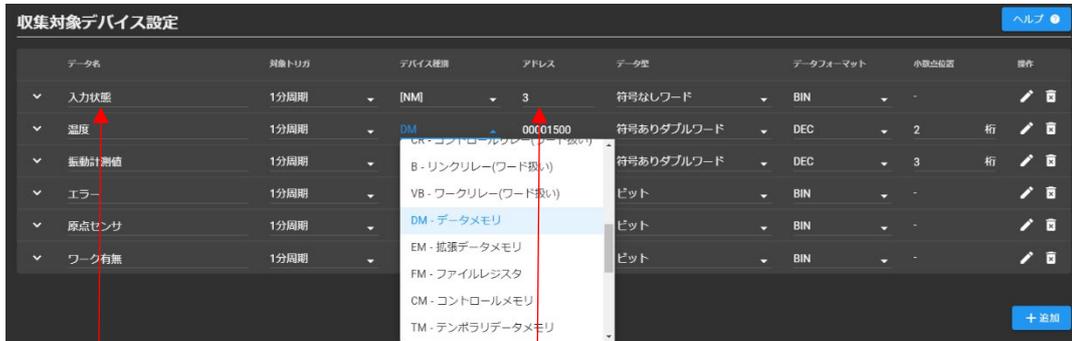
トリガ条件:外部機器の指定デバイスの変化、外部入力端子 ON、LOG ボタン、時間周期

## ②PUSHLOG Viewer 操作性アップ

ファームウェアのアップデートなど特別な操作は必要ありません。現在ご使用中の状態でご追加機能をご利用いただけます。

### 収集デバイスを一覧表示上で直接編集

編集画面を表示しなくても、一覧表示上でデータ名やデバイス種別、アドレスなどを直接編集できます。



データ名やアドレスをキーボードで直接入力できます。

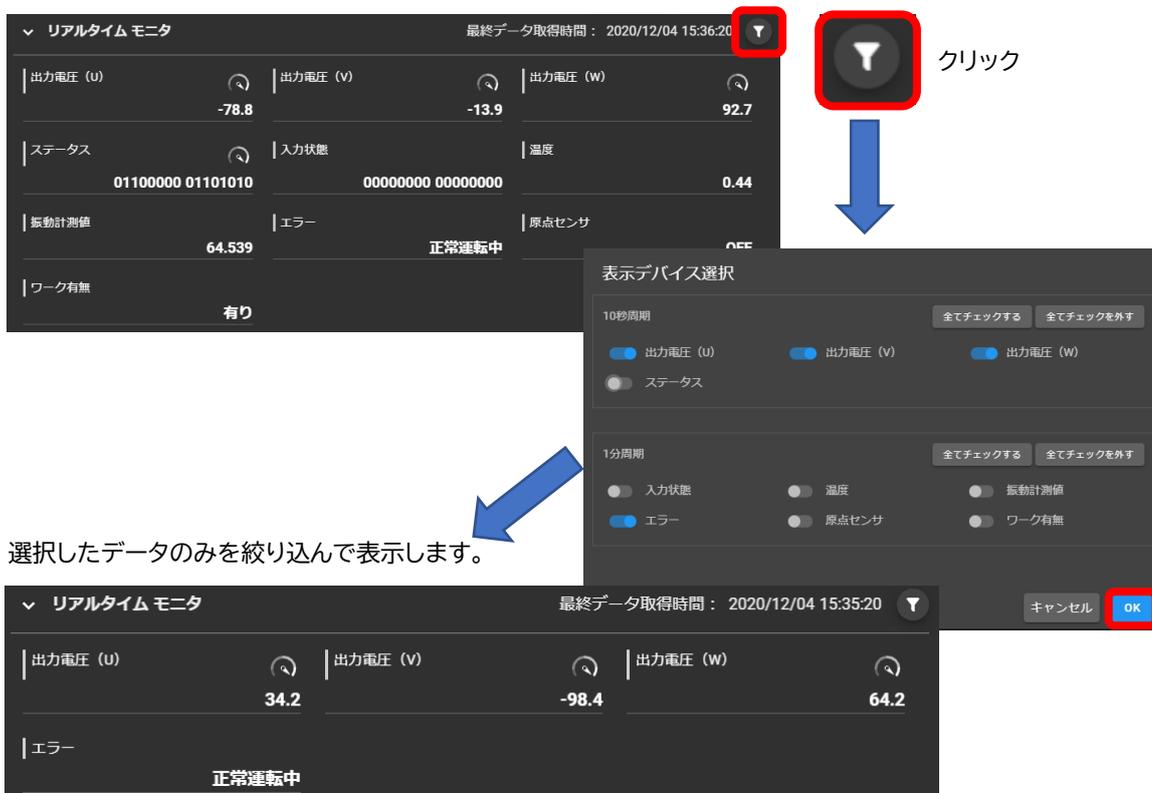
### 設定インポート時のインポート内容選択

ゲートウェイ設定をコピーするとき、コピーする設定内容を選択できます。



## 表示データの絞り込み(フィルタ機能)

リアルタイムモニタやヒストリカルモニタに表示する収集デバイスを選択できます。  
必要なデータのみを表示することで、モニタ画面を見やすく表示することができます。



リアルタイム モニタ 最終データ取得時間： 2020/12/04 15:36:20

出力電圧 (U)	出力電圧 (V)	出力電圧 (W)
-78.8	-13.9	92.7
ステータス	入力状態	温度
01100000 01101010	00000000 00000000	0.44
振動計測値	エラー	原点センサ
64.539	正常運転中	OFF
ワーク有無		
有り		

表示デバイス選択

10秒周期 全てチェックする 全てチェックを外す

出力電圧 (U)  出力電圧 (V)  出力電圧 (W)

ステータス

1分周期 全てチェックする 全てチェックを外す

入力状態  温度  振動計測値

エラー  原点センサ  ワーク有無

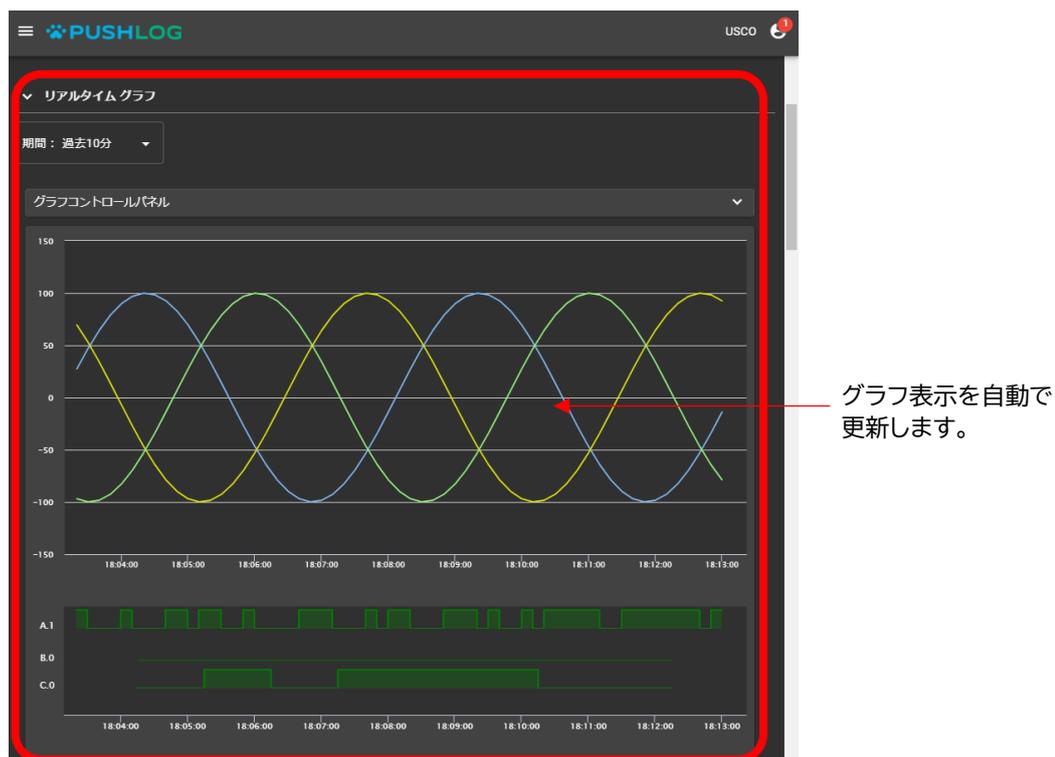
選択したデータのみを絞り込んで表示します。

リアルタイム モニタ 最終データ取得時間： 2020/12/04 15:35:20

出力電圧 (U)	出力電圧 (V)	出力電圧 (W)
34.2	-98.4	64.2
エラー		
正常運転中		

## リアルタイムグラフ

1分ごとに自動更新されるグラフ表示です。高速トリガ設定を使用しているときは10秒ごとに表示が自動更新されます。



### ③オプションライセンス登録およびライセンス管理

追加されたデータ収集機能(高速トリガ設定、収集データ追加、アラームレコーダ)を使用するときは、オプションライセンス(ライセンスカード)を購入して、カードに記載されているライセンスキーをゲートウェイに登録します。

ライセンスカード表面



ライセンスカード裏面



オプションライセンス型式一覧

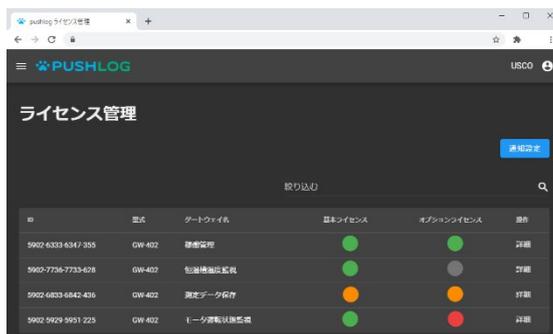
種類	型式	内容
高速データ追加※1	GL-S10	高速データ(10秒周期)10点追加ライセンス/年
	GL-S20	高速データ(10秒周期)20点追加ライセンス/年
	GL-S64	高速データ(10秒周期)64点追加ライセンス/年
収集データ追加※1	GL-D64	収集データ(1分周期)64点追加ライセンス/年
	GL-D128	収集データ(1分周期)128点追加ライセンス/年
アラームレコーダ※2	GL-R100	アラームレコーダ標準ライセンス/年 トリガ発生回数 100回/月まで
	GL-R1000	アラームレコーダ大容量ライセンス/年 トリガ発生回数 1000回/月まで

※1 高速データ追加と収集データ追加のオプションライセンスはいずれか1種類のライセンスでそのうち1型式のライセンスのみ登録可能です。

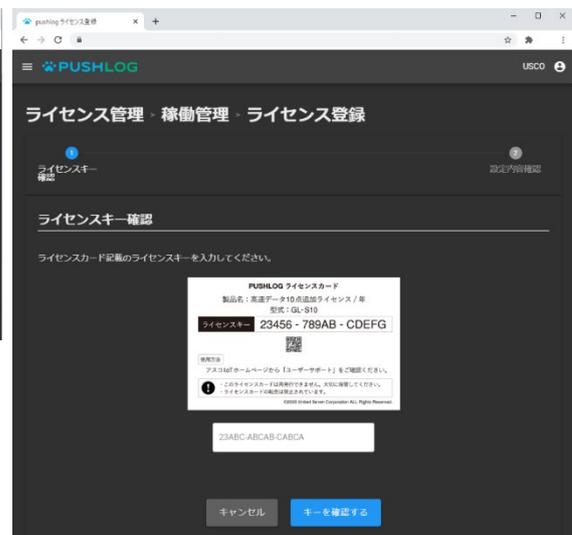
※2 アラームレコーダのオプションライセンスはいずれか1型式のライセンスのみ登録可能です。

ライセンス管理画面でオプションライセンスの登録や使用可能期間を確認することができます。

ライセンス管理画面



ライセンス登録画面



## PUSHLOG ゲートウェイのファームウェアアップデート方法

### ファームウェアアップデートの注意事項

- ・Ver1.0.\*から Ver2.0.0 にバージョンアップするときは、ファームウェアのアップデート後、クラウドからゲートウェイにゲートウェイ設定を再送信します。  
**ゲートウェイ設定の再送信中に電源を OFF すると、次回起動時、再び設定再送信が実行されるため、データ収集しない状態になります。**  
**アップデートツールで「ファームウェアの更新が完了しました。」と表示してから、5分間、電源を OFF せずにお待ちください。**
- 5 分経過後、ステータス LED が緑点灯になっていることを確認してから、ゲートウェイの電源を OFF→ON してください。
- なお、ゲートウェイ設定再送信中は、一時的にステータス LED が赤点灯しますが異常ではありません。
- ・ファームウェアのアップデート中はデータ収集が実行されませんのでご注意ください。  
アップデート完了後はアップデート前に収集したデータに続けてデータ収集が実行されます。

#### <バージョンアップ内容>

- ・高速トリガ設定および収集データ追加
- ・アラームレコーダ

#### <アップデートツールおよびアップデートファイルのダウンロード手順>

- ①下記 URL から zip ファイルをダウンロードしてください。

<http://www.uip.usco.jp/ftp/20201204.zip>

- ②ファイルを PC のドライブに保存してください。

- ③ダウンロードしたファイル(20201204.zip)を解凍(展開)してください。

下記の 2 つのファイルが解凍先フォルダに作成されます。

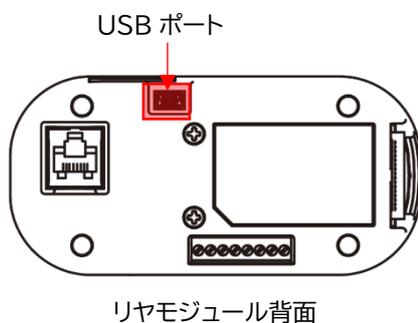
PushLogUpdateToolInst\_x64.msi → アップデートツールのインストーラです。

pushlog\_fw\_2.0.0.bin → ファームウェアのアップデート用ファイルです。

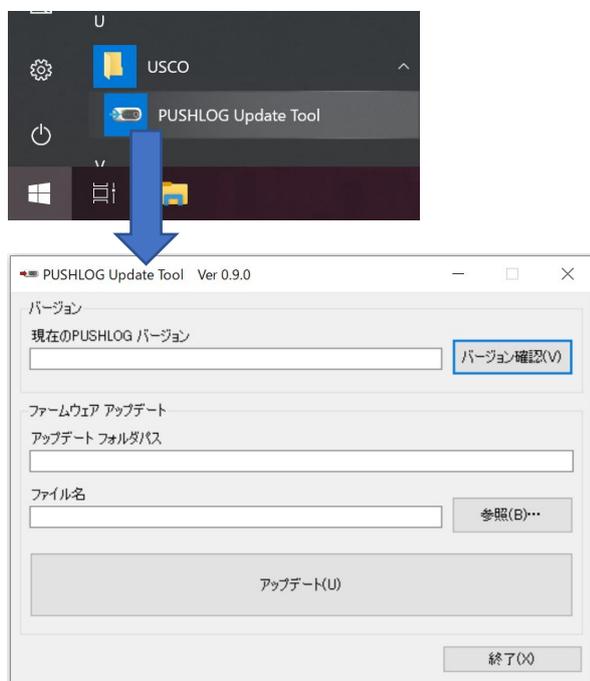
ファイルのダウンロードができないお客様は、当社までお問い合わせください。

<アップデート手順>

- ①ダウンロードしたインストーラ(PushLogUpdateToolInst\_x64.msi)を実行してください。  
アップデートツールがインストールされます(対応 OS は Windows10 です)。
- ②USB ケーブル(miniB)で PC とゲートウェイの USB ポート(下図)を接続します。



- ③アップデートツールを起動します。

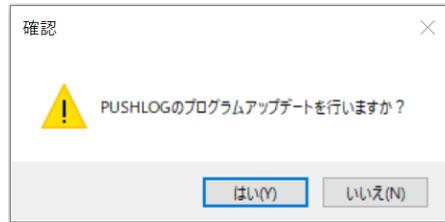


- ④参照ボタンをクリックした後、[開く]画面でダウンロードしたアップデートファイル (pushlog\_fw\_2.0.0.bin)を開いてください。

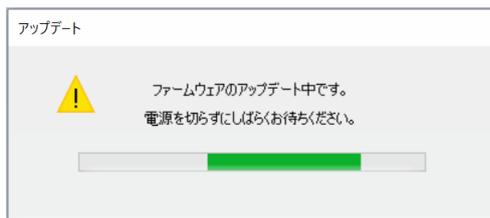


⑤ ゲートウェイの電源が ON している状態で[アップデート]をクリックします。

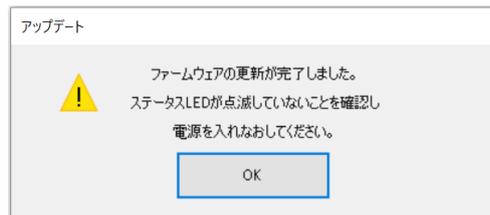
⑥ 下記の画面を表示したら[はい]をクリックします。



⑦ 下記の画面を表示している間(ファームウェアのアップデート中)はゲートウェイの電源を OFF しないでください。



⑧ 下記の画面を表示してもゲートウェイの電源を OFF しないでください。



## ファームウェアアップデートの注意事項

・Ver1.0.\*から Ver2.0.0 にバージョンアップするときは、ファームウェアのアップデート後、クラウドからゲートウェイにゲートウェイ設定を再送信します。

**ゲートウェイ設定の再送信中に電源を OFF すると、次回起動時、再び設定再送信が実行されるため、データ収集しない状態になります。**

**アップデートツールで「ファームウェアの更新が完了しました。」と表示してから、5分間、電源を OFF せずにお待ちください。**

5 分経過後、ステータス LED が緑点灯になっていることを確認してから、ゲートウェイの電源を OFF→ON してください。

なお、ゲートウェイ設定再送信中は、一時的にステータス LED が赤点灯しますが異常ではありません。

・設定再送信中に電源を OFF してしまったときは、電源を ON したあと 10 分以上電源を入れたままにしてください。設定再送信が完了するとデータ収集を開始します。10 分以上経過してもステータス LED が赤点灯のままデータ収集しないときは、当社までご連絡ください。

⑨アップデートツールは[OK]をクリックして、閉じてください。

ゲートウェイの表示灯の点灯タイミングについて

今回のバージョンアップに合わせて PUSHLOG Viewer からゲートウェイ本体のファームウェアバージョンを確認する動作を追加しました。

このため、ゲートウェイの電源投入後、LTE 電波強度表示灯が点灯→送信(受信)状態表示灯が点灯するまでの時間が若干増加しています。点灯タイミングの変化は、ゲートウェイの異常によるものではありません。引き続きご使用いただきますよう、お願いいたします。

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社アスコ IoT 事業推進室 営業グループ

メールアドレス:[inf.uip@usco.jp](mailto:inf.uip@usco.jp)

電話:06-6210-2226

以上